

令和5年度麻布大学同窓会富山県支部総会報告

7月23日、麻布大学獣医学部 獣医学科の平健介先生にご臨席いただき、令和5年度富山県支部総会が開催されました。総会は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和2年度以降、書面開催となっていたが、今年度は4年ぶりに対面で開催することができました。久しぶりに会員同士が直接、近況や意見交換が行え、対面の良さを改めて感じる事ができました。

総会では、昨年度の事業・会計報告、今年度の事業予定・予算案、などについて審議が行われ、満場一致で原案とおり承認されました。また、昨年10月に本県で開催した中部ブロック会議の概要について事務局より報告が行われました。

総会後は、平先生より寄生虫の定量的糞便検査法に関してご講演をいただきました。寄生虫のモニタリングや治療方針の決定に当たっては、基本に立ち返った糞便検査が重要であることを改めて認識できました。

ご講演後は、「麻布大学の今」と題して、大学の近況についてもお話をいただき、時代と共に発展していく大学の様子に会員一同、感嘆いたしました。また一方で、学生時代から変わらぬものもあり、母校で過ごした日々が思い起こされ、大変有意義な時間となりました。

総会後には、平先生を囲んで、懇親会を開催いたしました。懇親会の際は、現在、麻布大学応援団でも活躍されている平先生とともに、参加者一同で麻布大学寮歌などを斉唱し、とても楽しいひとときとなりました。遠方からご参加いただいた平先生、誠にありがとうございました。

新型コロナウイルス感染症の影響により少々停滞気味となっていた活動ですが、今後は再び活性化が図れるよう、また新たな会員が増えるよう活動を行っていきたいと思います。

“花爛漫の相模の野 月下の宴にたむろして ああ青春の甘酒を くみて踊らん今宵こそ“



(平成15年卒
水木 亮史)

集合写真